

具体的な事例を示す秋山先生



## 太古のロマンに馳せる夢

◎興野々寺山遺跡竪穴住居復元プロジェクト

6月7日、近永公民館講堂で、「弥生時代の生活を復元体験！興野々寺山遺跡竪穴住居復元プロジェクト」の第1回検討会が行われました。

12月の完成を目標に、弥生時代に建てられていた興野々寺山遺跡独特の竪穴住居を復元しようとした本プロジェクト。

この日は、遺跡デザイナーの秋山邦雄氏を講師に迎え、秋山先生の経験談を元に、今後解決していかなければならない課題の数々を、参加者全員で共有しました。

約1800年前の生活を垣間見ることとなる今回の挑戦に、参加した人たちの夢が広がります。

愛媛FCの選手らと記念撮影



©EHIME FC

## 鬼北TIGRINHOが飾る、勝利への道

◎愛媛FCマツタウン

5月24日、松山市のニンジニアスタジアムで、愛媛FCの試合が行われ、マツタウンとして、当町の近永スポーツ少年団サッカー部・鬼北TIGRINHOの子ども達が、エスコートキッズとして参加しました。

この日、粘り強い戦いで見事勝利を収めた愛媛FC。参加した子ども達は、プロの技を目の当たりにし、目を輝かせて見入っていました。

また、必死に勝利を求める選手たちの姿に、全日本少年サッカー愛媛県大会の出場を控えている自らの姿を重ね、その意欲を新たにしていました。

届け！ゴールへ



## 一球に、プレー一つに込める思い

◎鬼北町球技スポーツ少年団春季大会

鬼北町球技スポーツ少年団春季大会は6月21日、鬼北総合公園グラウンドおよび体育館で開催されました。

今年は、町内外からソフトボール5チーム、バスケットボール5チームが参加。会場には、選手に喝を入れる監督の声、そしてチームメイトを励まし、好プレーを称える仲間たちの声が響き渡り、勝利目指して、熱戦が繰り広げられました。

主な結果は次の通りです。

▼ソフトボール①近永球技スポーツ少年団②鶴島ジュニアスポーツ少年団▼バスケットボール①近永球技スポーツ少年団②好藤スポーツ少年団

思い思いの場所を散策する参加者



## 豊かな自然と文化「鬼北を描く」

◎愛媛県鬼北町を描く絵画展・スケッチ会

NPO法人地域美術展協会が主催する、第30回地展の今年のテーマが「愛媛県鬼北町を描く絵画展」であることから、6月15日、町内各所でスケッチ会が行われました。

この日は、町外の美術作家らを中心に約40人が参加し、成川溪谷や明星ヶ丘など、町内のさまざまな場所を探索。これから自身が描く絵画のための最高の題材を探すべく、じっくりとその景色を目に焼き付けていました。

参加した人たちは「良いところが多くて選ぶのが大変」と話し、魅力溢れる鬼北町をその目で感じ取ったようでした。